假リニ一正ノ猶ガ泥田ニテ死ンデ居テモ騒グデハナイカ然ルニ白
書神戸市ノ眞中デ人ガ突キ殺サレタルニ拘ラズ警察官ノ騒ヌニ自
分ハ疑問ヲ抱クモノデアル、過般一宮今太郎ノ殺人事件ニ對シ各
署共ニ不眠不休デ騒イダデハナイカ夫レニ常峰君ノ犯人ハ今ニ舉
ラヌデハナイカ自分ハ此點ヲ疑問ニシテ居ルモノデアル法律ヲ信
ズル我々ハ此點ニ於テ信用出來ナイ、元來現社會ノ司法警察權、
行政警察權ヲ分離シテ司法警察權ハ如何ナル迫害ガアルトモ之レ
ヲ公平ニ適用シテ貰ヒタイ、今日ノ不合理ナル社會制度ヲ改革シ
テ常峰君ヲ殺シタ一人位ノ犯人ノ檢擧ヲ目的トセズ永遠ノ靈ヲ慰
ル事ハ諸君ノ責任ニアルノデアルカラ壓制迫害ガ何ンダ陰忍自重
努力セラレ最後ノ勝利ヲ擧ゲラレンコトヲ切ニ希望シマス

三輪壽壯（東京辯護士）

大正十年ノ神戸ノ爭議ニ於テ三萬五千人ノ勞働者ガ如何ニ日本ノ
資本家階級ニ對シ怨恨ヲ持ツタデアラウカ勞働爭議ガ資本家對勞

財團法人協調會大阪支所